

「原水爆禁止 2019 年世界大会」へのメッセージ

核兵器の廃絶と世界の恒久平和の実現に向けて取り組んでおられる皆様方の活動に対し、深く賛同し、心より敬意を表します。

原子爆弾によって 30 数万人とも言われる尊い命が失われた惨禍から、74 年が経過しようとしています。被爆された方は、今もなおその後障害等により肉体的にも精神的にも苦しんでおられます。

今なお世界には、地球を何度も滅ぼせるだけの核兵器が存在しています。人類全体が国や人種・思想の垣根を取り払い、核兵器の廃絶に取り組んでいかなければなりません。

今年 5 月には、国連本部で来年の核不拡散条約（NPT）再検討会議に向けた最後の準備委員会が開催されました。この委員会では、指針となる勧告は採択されませんでした。必要な手続事項の確定が行われ、来年の再検討会議に向けての最低限の準備は整いました。

尾道市でも、国際社会の連帯と平和主義の原点に立ち、今後も核兵器の全面撤廃と恒久平和を求め続けてまいります。

原水爆禁止世界大会の盛会と成功を心よりお祈りし、メッセージといたします。

令和元年 7 月 12 日

尾道市長 平谷 祐宏